

第2部

調査結果の概要

1. 地域のこと

< 住んでいる地域への評価 >

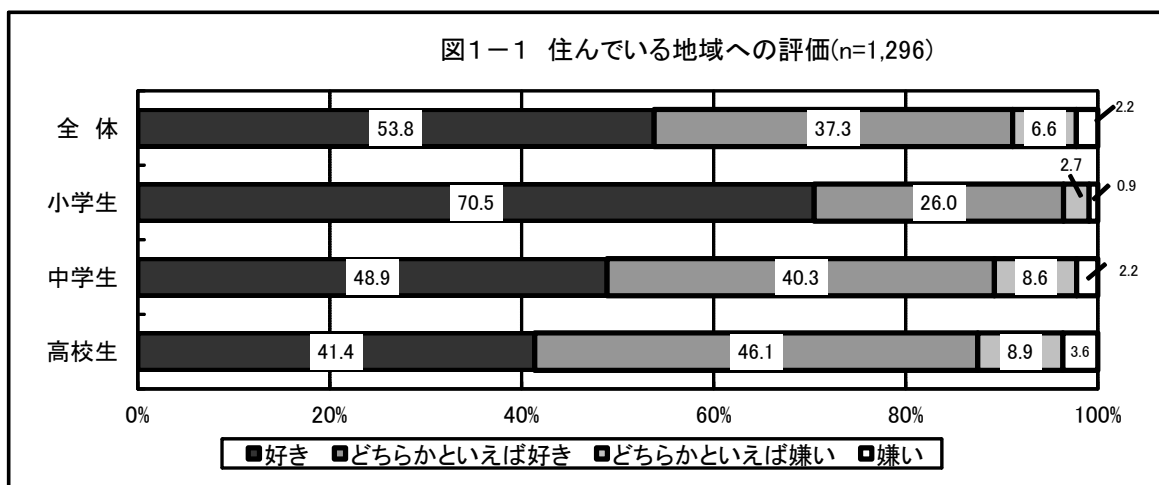
問2 あなたは、あなたが住んでいる地域が好きですか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

住んでいる地域が好きかどうか尋ねたところ、「好き」が53.8%で最も高い。「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は、91.1%となっている。

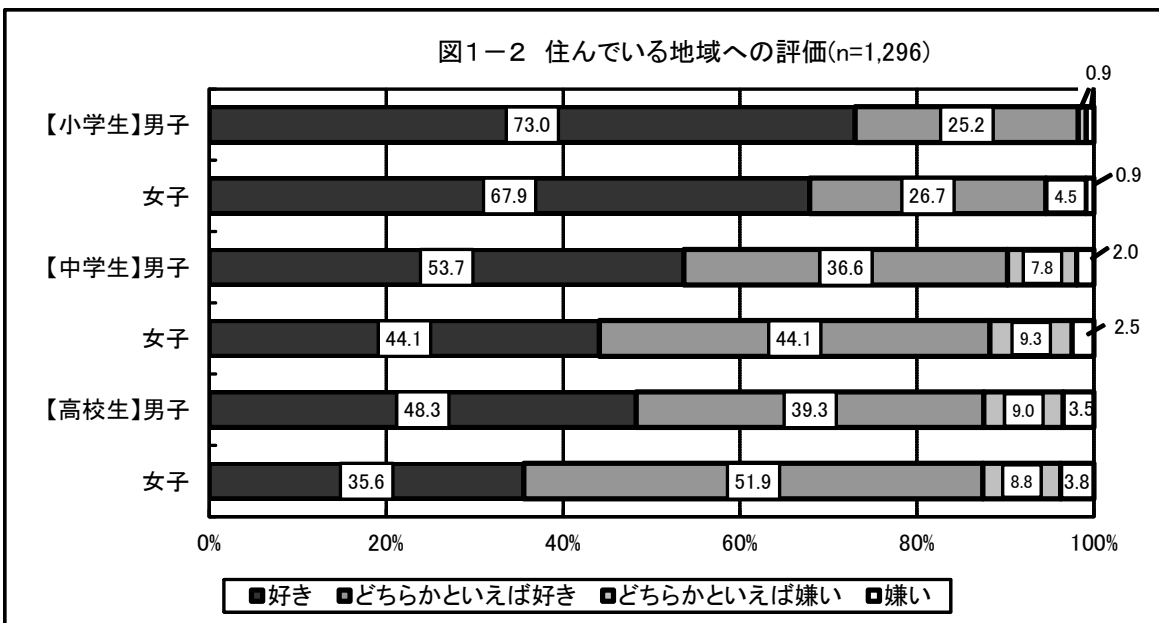
【学校種別集計結果】

『好き』を見てみると、小学生が96.5%で最も高く、以下、中学生（89.2%）、高校生（87.5%）となっている。



【属性別集計結果】

『好き』を見てみると、小学男子が98.2%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、男子のほうが女子よりもポイントが高い。



< 地域の大人へのあいさつ >

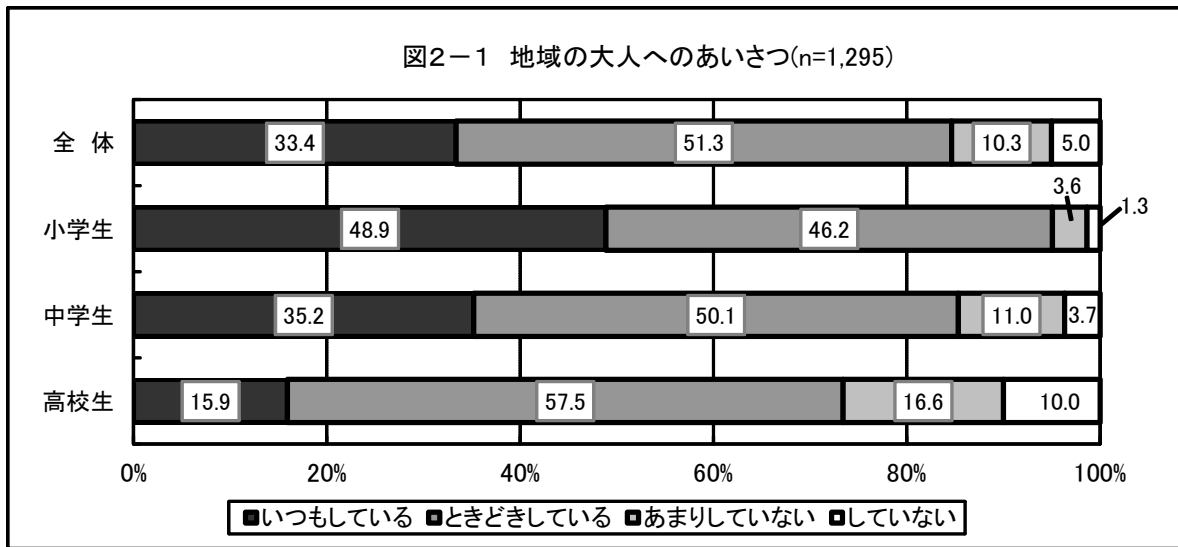
問3(1) あなたは、あなたが住んでいる地域の大人にあいさつをしていますか。
1つ選んでください。

【全体集計結果】

地域の大人にあいさつしているかどうか尋ねたところ、「ときどきしている」が51.3%で最も高い。「いつもしている」と「ときどきしている」を合わせた『している』を見てみると、84.7%となっている。

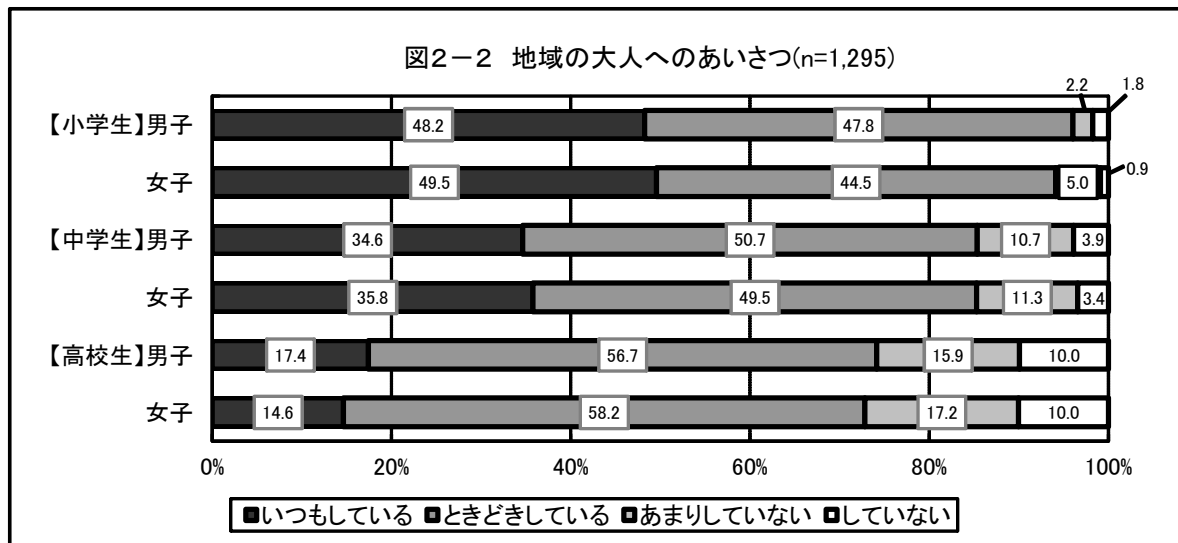
【学校種別集計結果】

『している』を見てみると、小学生が95.1%で最も高く、以下、中学生(85.3%)、高校生(73.4%)となっている。



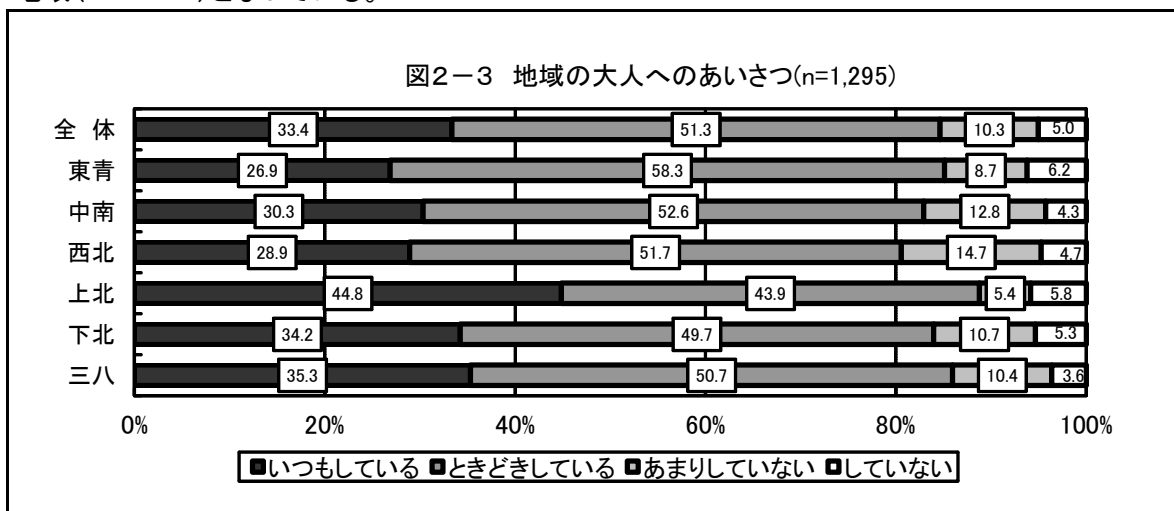
【属性別集計結果】

『している』を見てみると、小学男子が96.0%で最も高い。また、小学生、高校生は男子のほうが女子よりも高いが、中学生は男女とも同じになっている。



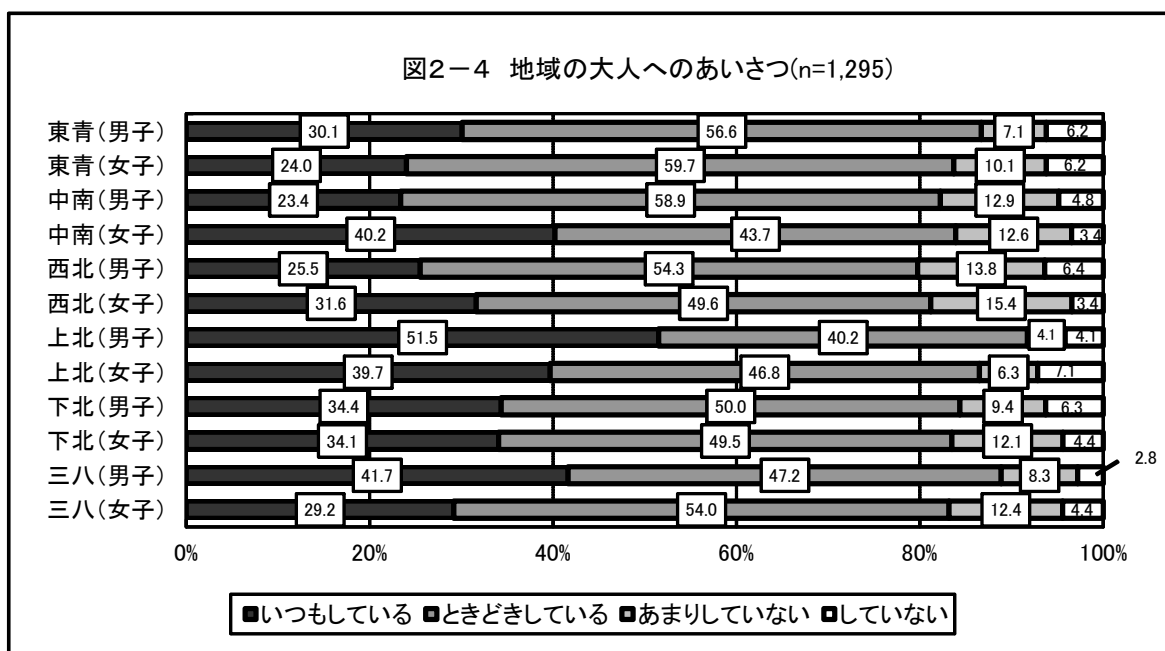
【地域種別集計結果】

『している』を見てみると、上北地域が88.7%で最も高く、以下、三八地域(86.0%)、東青地域(85.2%)となっている。



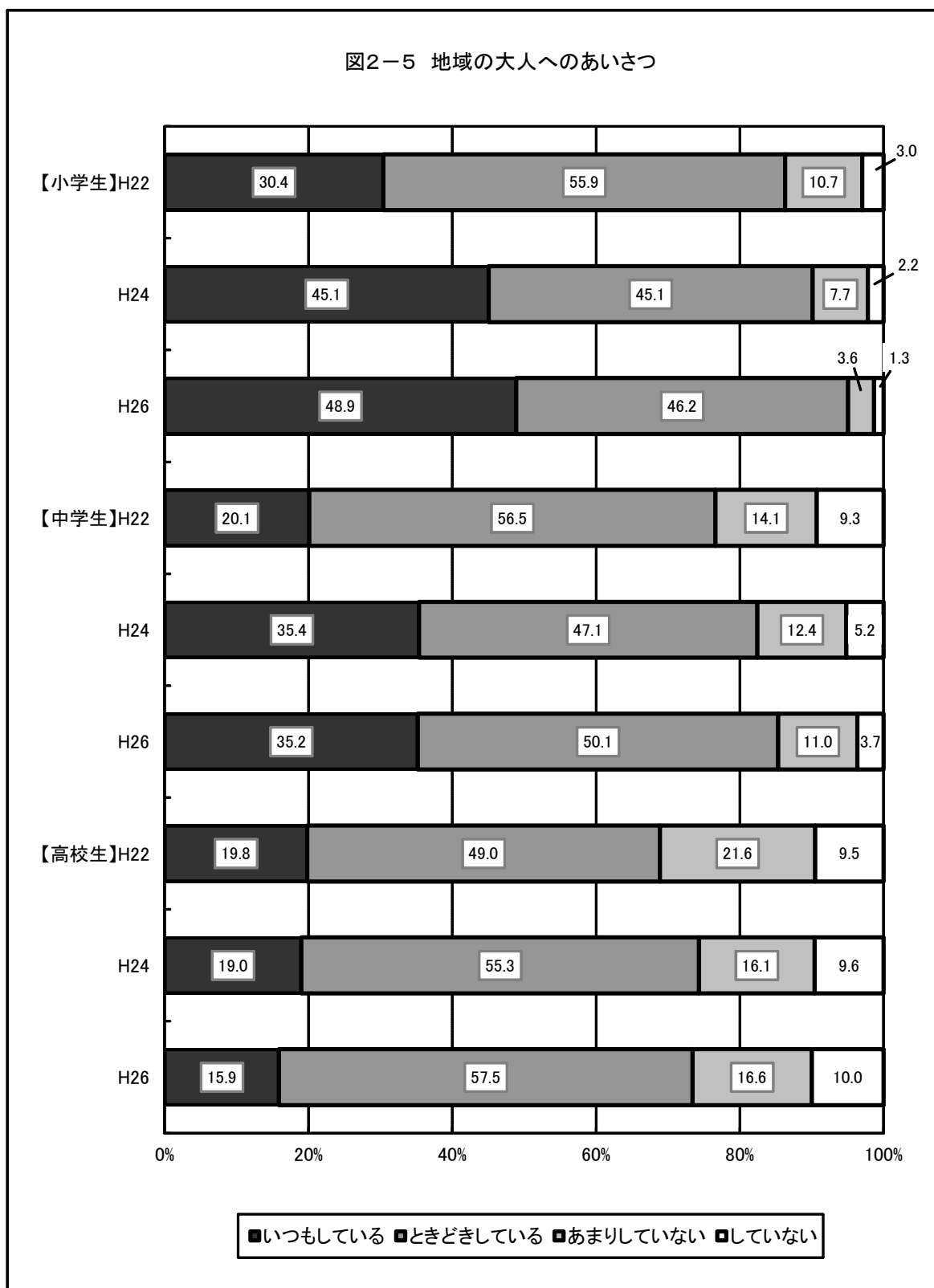
【属性別集計結果】

『している』を見てみると、上北地域の男子が91.7%で最も高い。また、東青地域、上北地域、下北地域、三八地域は男子のほうが女子よりも高いが、中南地域、西北地域は女子のほうが男子よりもポイントが高い。



【時系列比較(平成22年度・24年度調査と26年度との比較)】

『している』について、過去の調査と比較すると、小学生、中学生は、22年度、24年度調査よりもポイントが高くなっているが、高校生は24年度調査よりもポイントが低くなっている。



< 地域の大人からのあいさつ >

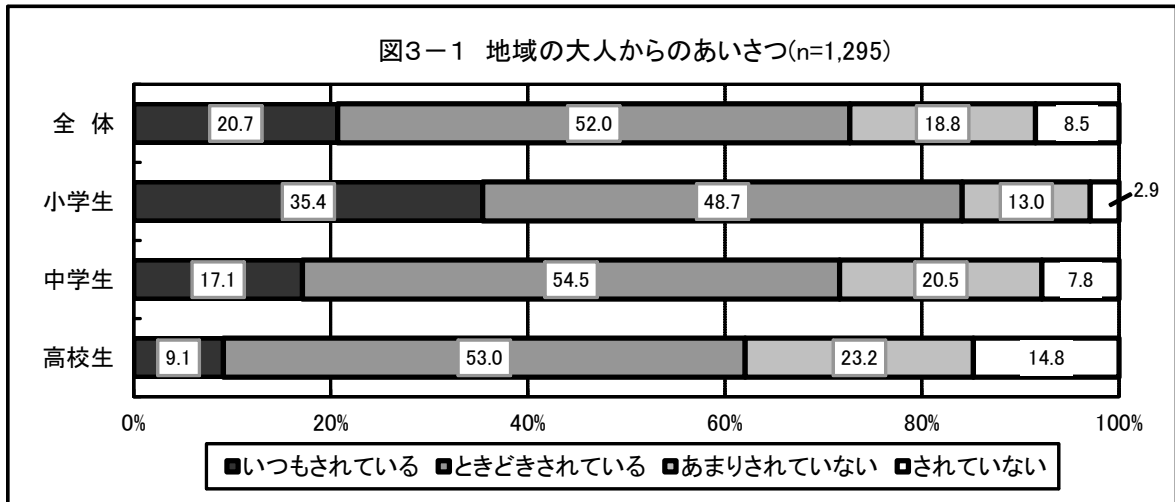
問3(2) あなたは、あなたが住んでいる地域の大人からあいさつをされていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

地域の大人からあいさつをされているかどうか尋ねたところ、「ときどきされている」が52.0%で最も高い。また、「いつもされている」と「ときどきされている」を合わせた『されている』を見ると、72.7%となっている。

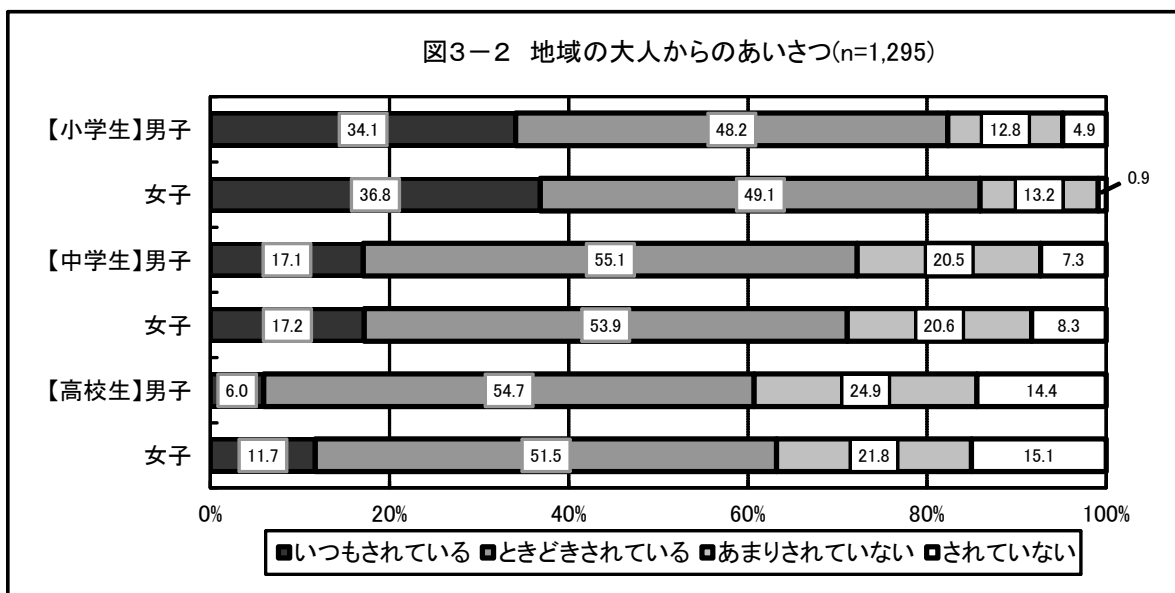
【学校種別集計結果】

『されている』を見てみると、小学生が84.1%で最も高く、以下、中学生(71.6%)、高校生(62.1%)となっている。



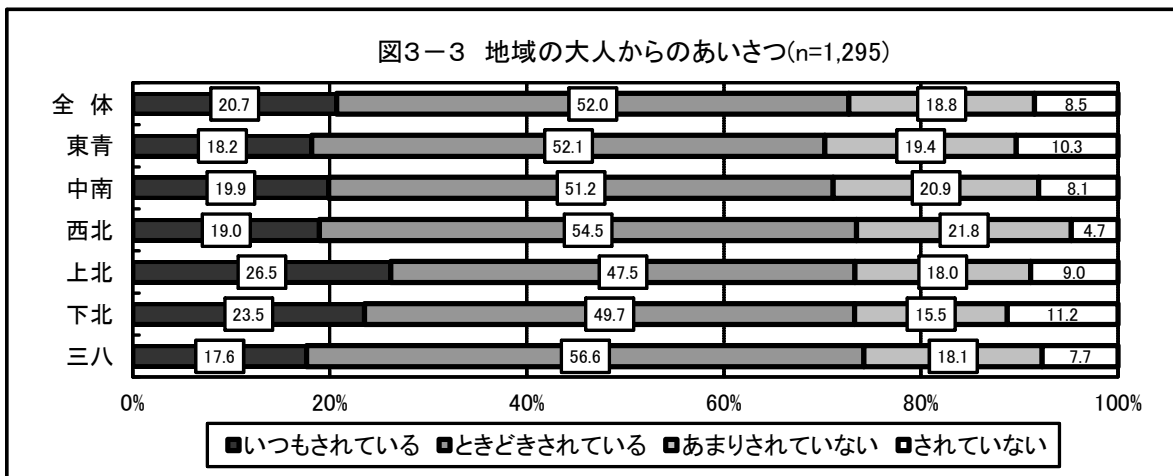
【属性別集計結果】

『されている』を見てみると、小学女子が85.9%で最も高い。また、小学生、高校生は、女子のほうが男子よりもポイントが高いが、中学生は大きな差は見られない。



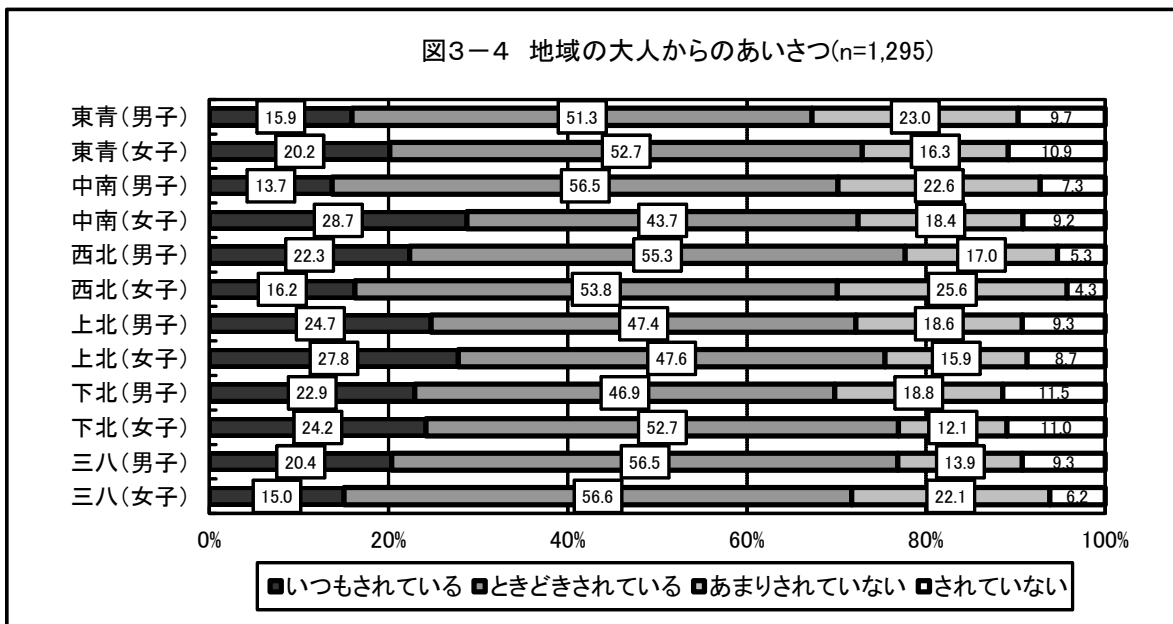
【地域種別集計結果】

『されている』を見てみると、三八地域が74.2%で最も高く、以下、上北地域(74.0%)、西北地域(73.5%)となっている。



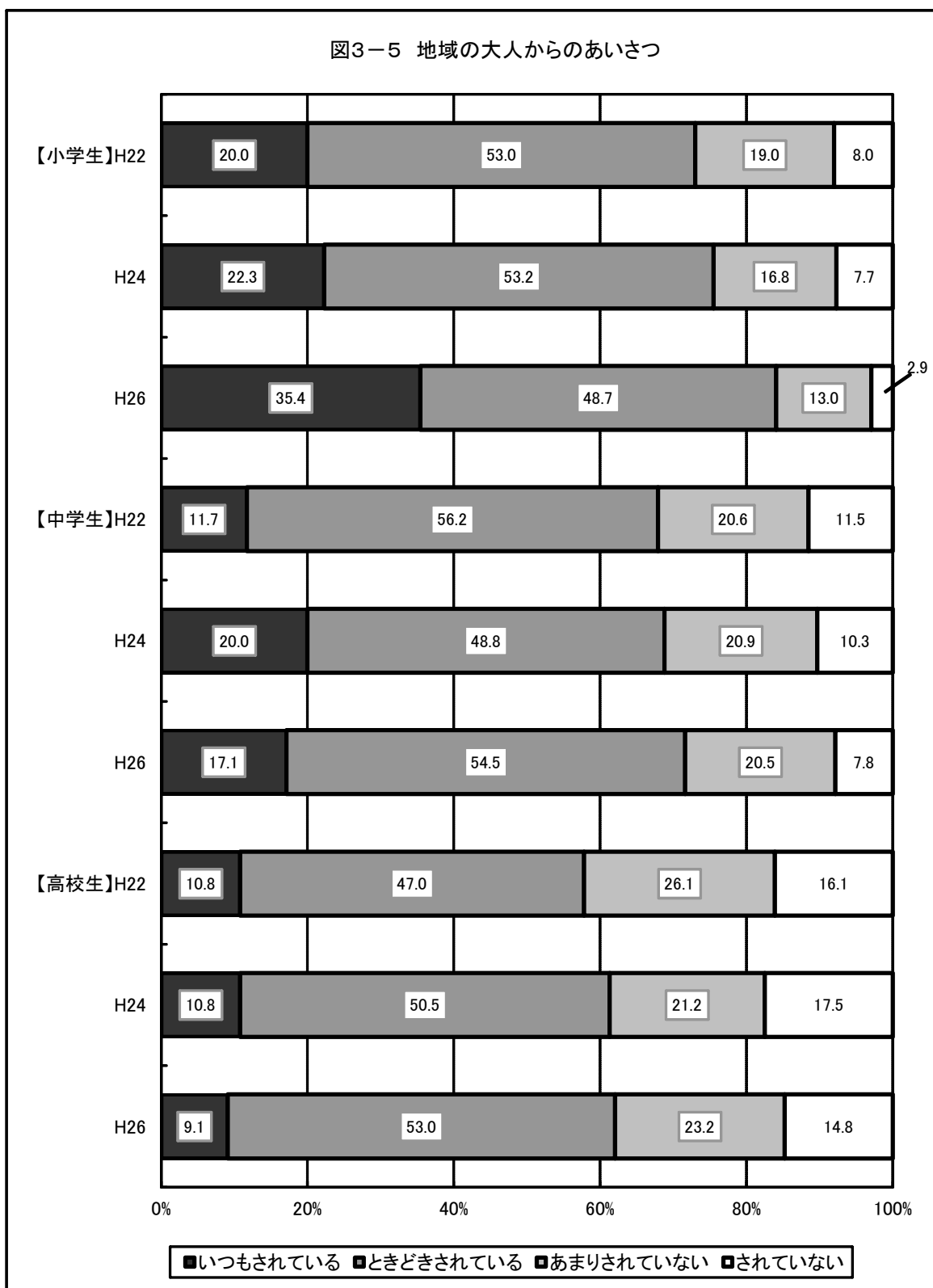
【属性別集計結果】

『されている』を見てみると、西北地域の男子が77.6%で最も高い。西北地域、三八地域を除く4つの地域において、女子のほうが男子よりもポイントが高い。



【時系列比較(平成22年度・24年度調査と26年度との比較)】

『されている』について、過去の調査と比較すると、小学生は、24年度よりも8.6ポイントの上昇、中学生は、2.8ポイントの上昇、高校生は、0.8ポイントの上昇となっている。



< 声がけに対する心境 >

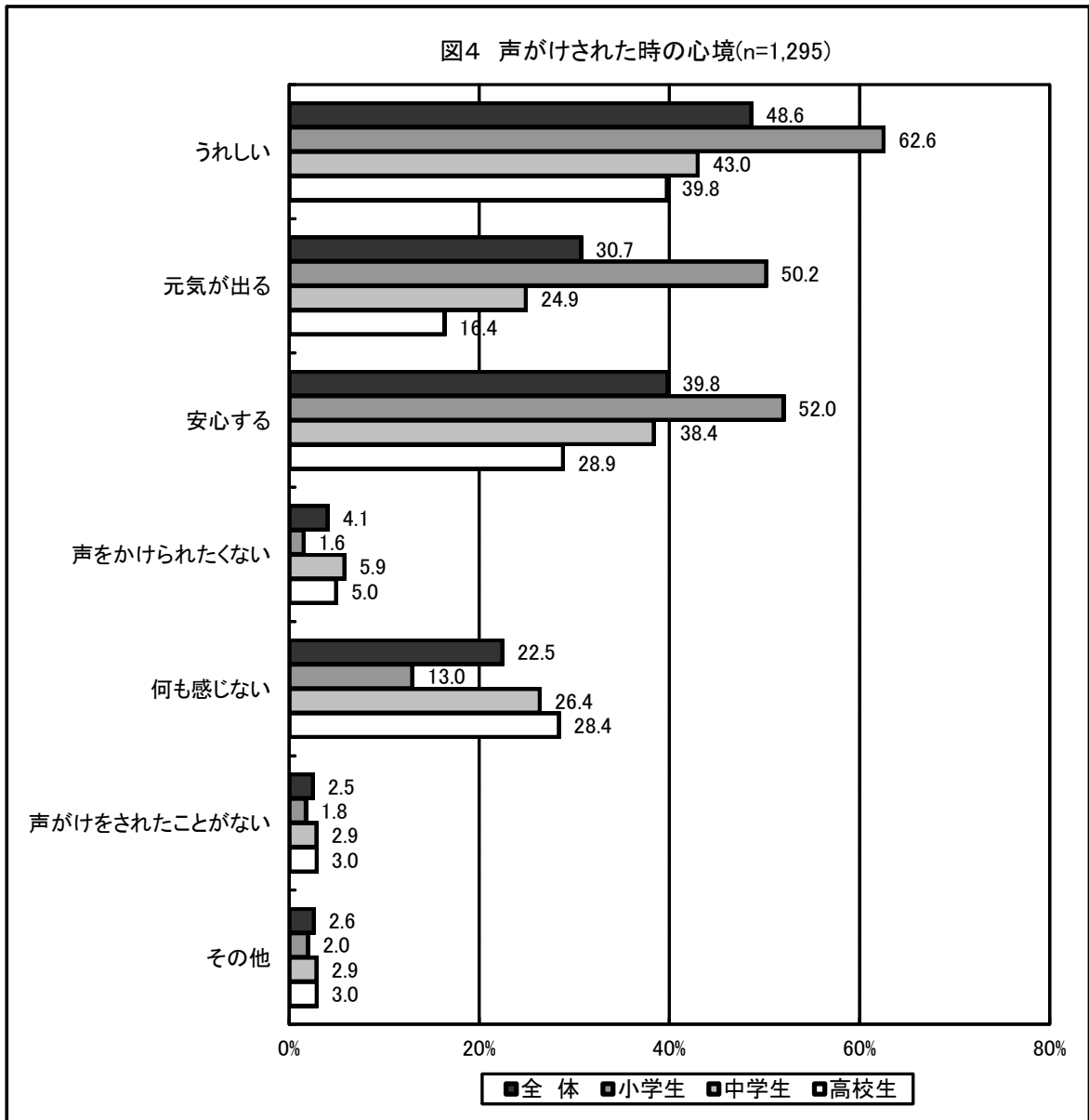
問3(3) あなたは、あなたが住んでいる地域の大人からあいさつなどの声がけをされた時、どう感じますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

【全体集計結果】

あいさつなどの声がけをされた時について尋ねたところ、「うれしい」が48.6%で最も高く、以下、「安心する」(39.8%)、「元気が出る」(30.7%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「うれしい」(小学生:62.6%、中学生:43.0%、高校生:39.8%)の割合が最も高い。次に割合が高いのは、「安心する」(小学生:52.0%、中学生:38.4%、高校生:28.9%)となっている。



< 地域活動への参加 >

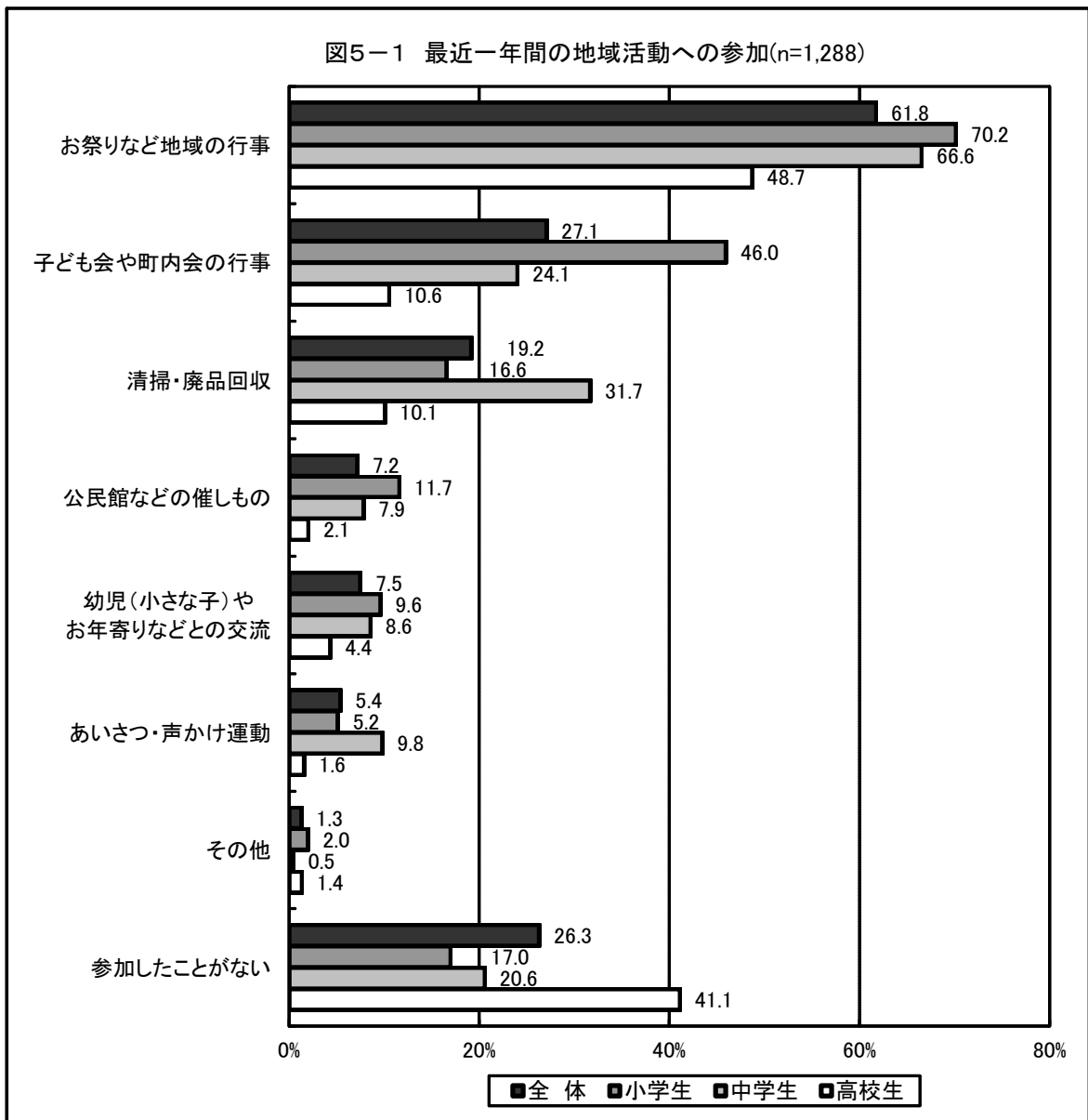
問4	あなたは、最近一年間で次のような地域の活動に参加したことがありますか。 あてはまるものをいくつでも選んでください。
----	--

【全体集計結果】

最近一年間で参加した地域活動について尋ねたところ、「お祭りなど地域の行事」が61.8%で最も高く、以下、「子ども会や町内会の行事」(27.1%)、「参加したことがない」(26.3%)、などとなっている。

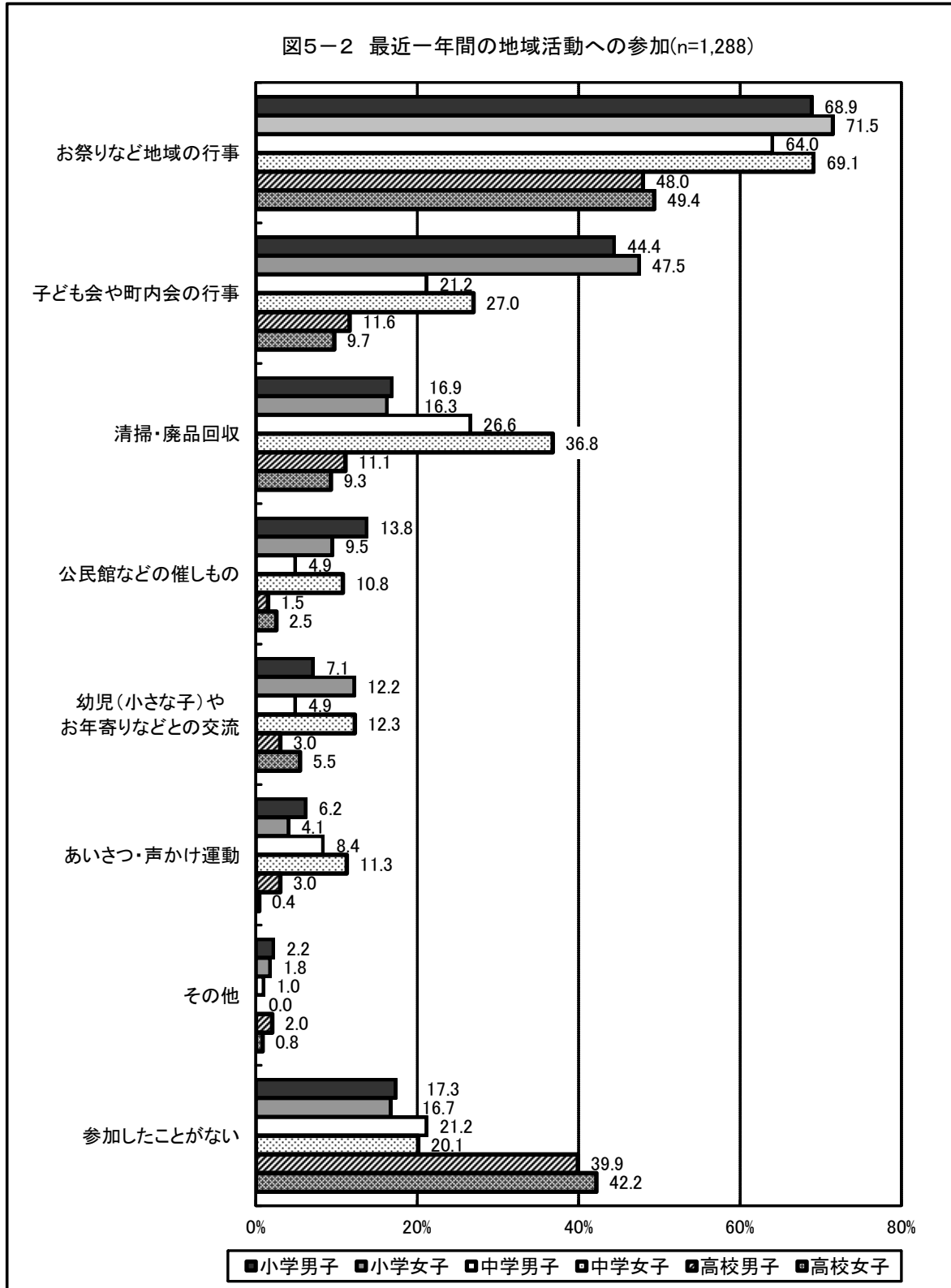
【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「お祭りなど地域の行事」(小学生:70.2%、中学生:66.6%、高校生:48.7%)の割合が最も高い。次に割合が高いのは、「子ども会や町内会の行事」(小学生:46.0%、中学生:24.1%、高校生:10.6%)となっている。



【属性別集計結果】

小学生男女、中学生男女、高校生男女のいずれも、「お祭りなど地域の行事」(小学生男子: 68.9%、小学生女子: 71.5%、中学生男子: 64.0%、中学生女子: 69.1%、高校生男子: 48.0%、高校生女子: 49.4%)の割合が最も高くなっている。



< ボランティア活動への参加 >

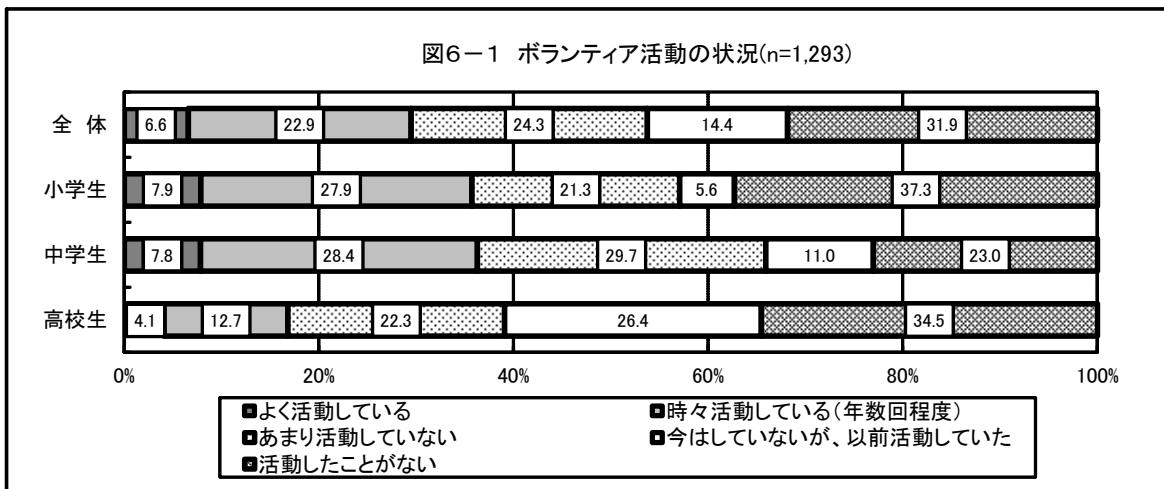
問5(1) あなたは、ボランティア活動(奉仕活動)をしていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

ボランティア活動をしているかどうか尋ねたところ、「活動したことがない」が31.9%で最も高い。「よく活動している」と「時々活動している」を合わせた『活動している』は29.5%となっている。

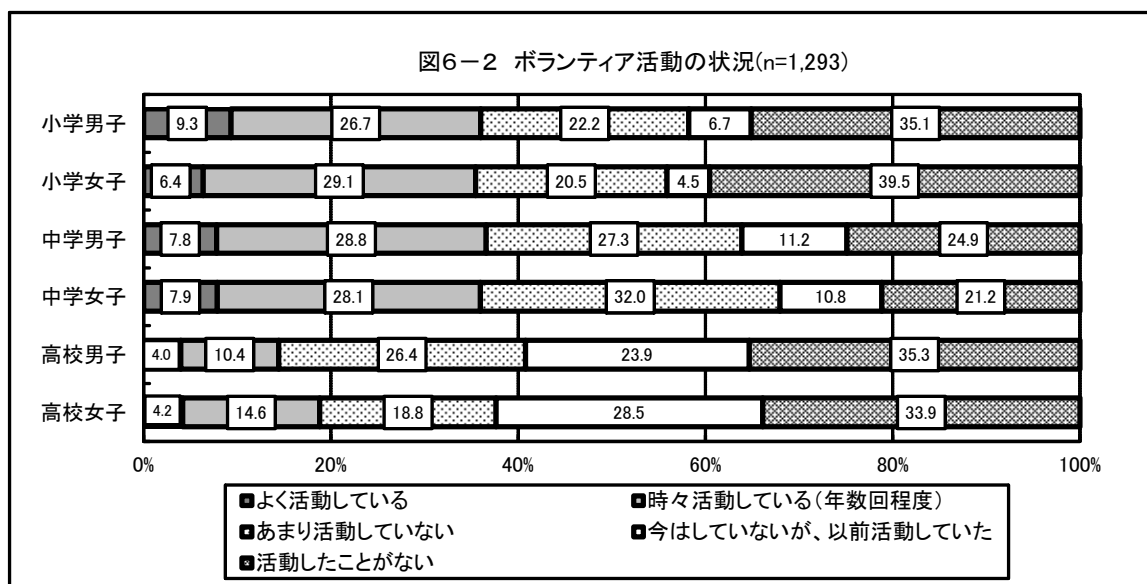
【学校種別集計結果】

『活動している』を見てみると、中学生が36.2%で最も高く、以下、小学生(35.8%)、高校生(16.8%)となっている。



【属性別集計結果】

『よく活動している』を見てみると、中学男子が36.6%で最も高い。一方、「活動したことがない」を見てみると、小学女子が39.5%で最も高く、次いで高校男子が35.3%となっている。また、「活動したことがない」では、中学生、高校生では男子のほうが女子よりも高いが、小学生では、女子のほうが男子よりも高い。



< ボランティア活動をする理由 >

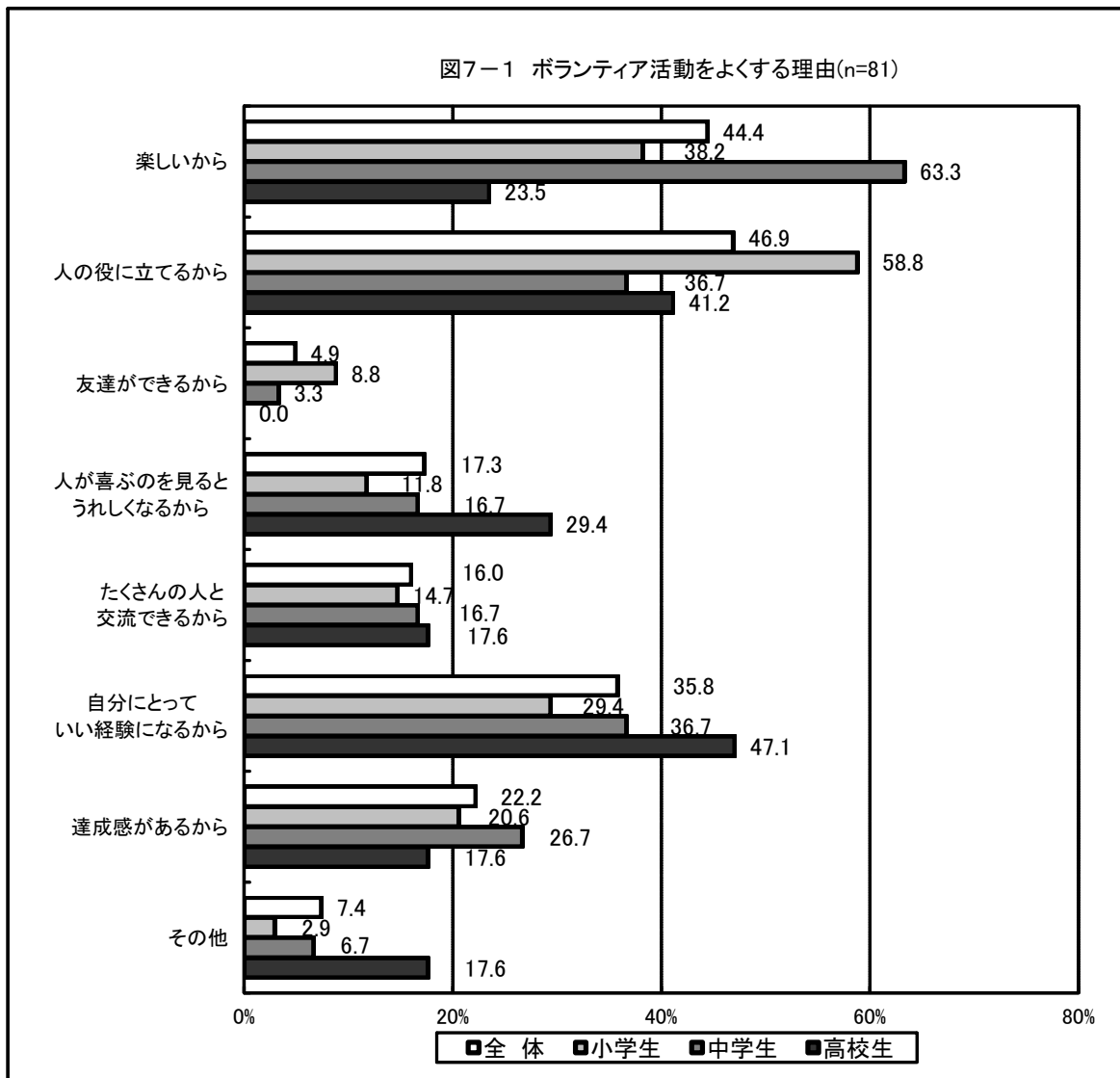
問5(2)	「1 よく活動している」を選んだ人だけお答えください。それはなぜですか。3つ以内で選んでください。
-------	---

【全体集計結果】

ボランティア活動をよくする理由は何かを尋ねたところ、「人の役に立てるから」が46.9%で最も高く、以下「楽しいから」(44.4%)、「自分にとっていい経験になるから」(35.8%)などとなっている。

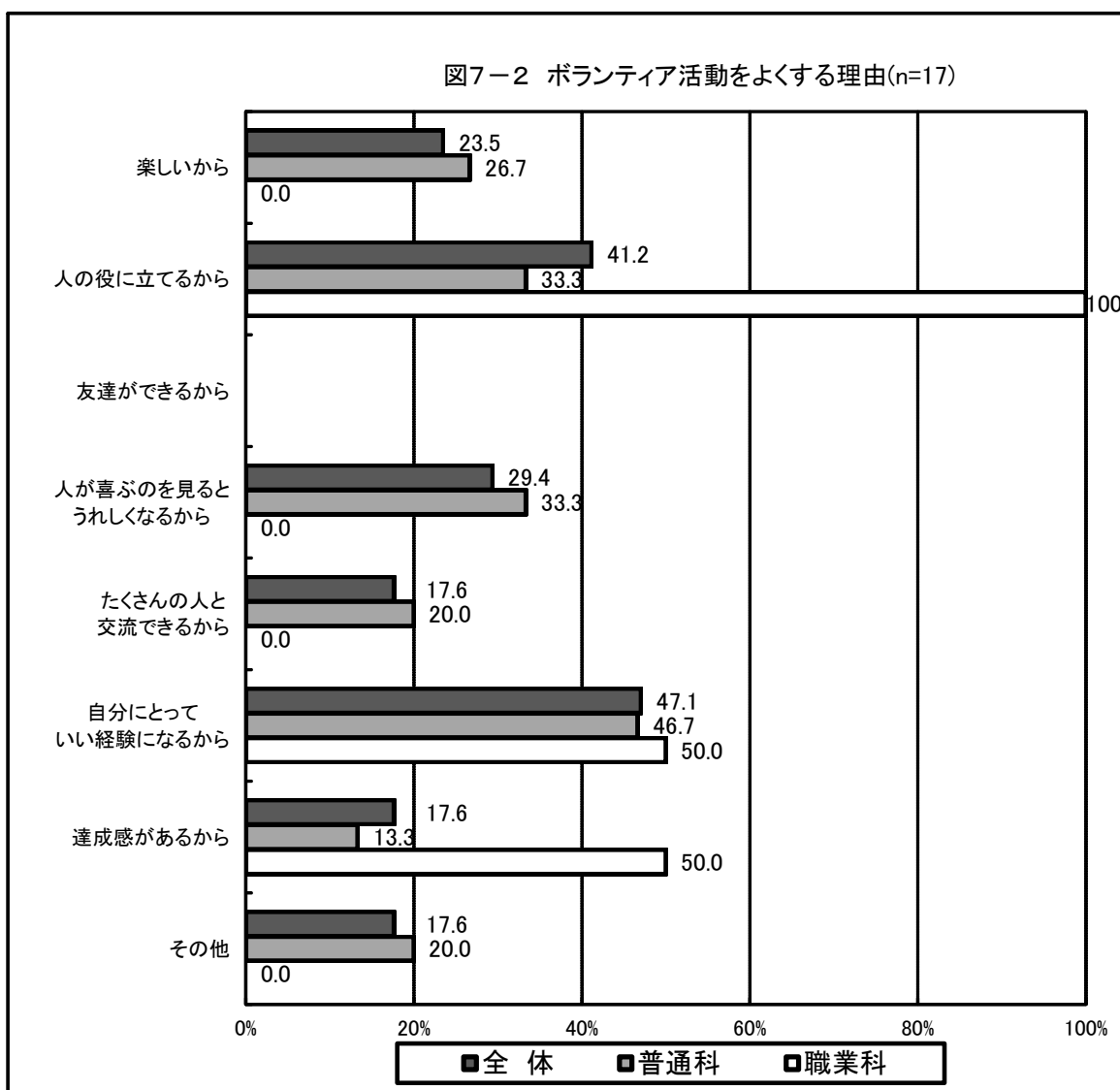
【学校種別集計結果】

小学生では「人の役に立てるから」が58.8%で最も高く、以下「楽しいから」(38.2%)、「自分にとっていい経験になるから」(29.4%)などとなっている。
 中学生では「楽しいから」(63.3%)で最も高く、以下「人の役に立てるから」が36.7%、「自分にとっていい経験になるから」(36.7%)、などとなっている。
 高校生では「自分にとっていい経験になるから」が47.1%で最も高く、以下「人の役に立てるから」(36.7%)、「楽しいから」(23.5%)などとなっている。



【学科別集計結果】

高校生のうち普通科生徒では「自分にとっていい経験になるから」が46.7%で最も高く、以下「人の役に立てるから」(33.3%)、「楽しいから」(26.7%)などとなっている。
 職業科生徒では「人の役に立てるから」が100%で最も高く、以下「自分にとっていい経験になるから」(50.0%)「達成感があるから」(50.0%)などとなっている。



<地域活動へ参加しない理由>

問6	問4で「8 参加したことがない」または問5(1)で「5 活動したことがない」を選んだ人はお答えください。それはなぜですか。3つ以内で選んでください。
----	--

【全体集計結果】

地域活動へ参加しない理由は何かを尋ねたところ、「活動の時間がない」が25.5%で最も高く、以下「特に理由はない」(20.3%)、「活動の情報(チラシや情報誌など)がない」(17.8%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では「特に理由はない」が24.2%で最も高く、以下「活動の時間がない」(21.5%)、「活動の情報(チラシや情報誌など)がない」(20.6%)などとなっている。
 中学生では「活動の時間がない」が24.8%で最も高く、以下「特に理由はない」(23.4%)、「活動の情報(チラシや情報誌など)がない」(20.7%)などとなっている。
 高校生では「活動の時間がない」が28.8%で最も高く、以下「興味・関心がない」(18.4%)、「特に理由はない」(15.6%)などとなっている。

